

2015 年度学校法人事業報告

ヴォーリズ没 50 周年にあたり決定した法人名変更（近江兄弟社学園からヴォーリズ学園へ）を実行いたしました。近江勤労女学校を「近江兄弟社女学校」に改称して以来 80 年目にして「ヴォーリズ」を冠することになりました。名称変更議論に 10 年をかけましたが、校名に「近江兄弟社」を残すことで合意に達しました。

名称変更は「悪いイメージを払しょくする手段である」という見解が強くありましたが、理事会は「新しい出発」の決意表明として、学園の『改革案』を発表しました。改革の主目的は「各校園自主自立の徹底」と「高等学校の充実」です。両項目とも半世紀前に理事会が公約し、果たされていなかった課題です。

とうとう（と言うより、すでに十年も前に）「待ったなし」のときが来ました。国中で「人口減、少子高齢化、地方衰退、財政破たん、災害・テロ頻発・・・」を憂えております。

「滋賀県は比較的人口減少率が低い」という希望的観測により「地方創生」の動きに取り残されてきました。しかし、足許から潮が引くように「若い世代の都市部集中、北から南へ、滋賀から京都へ」という流れが強まって来ています。

このことを『改革案（1）（2）』により、関係者に強く訴えて来ました。将来を憂い悩むだけでなく“Do!”の精神で切り抜きたいという思いで二年限定の改革推進本部を立ち上げました。各校園のリーダー会議や専門委員会もようやく本質的な議論（学校の存在意義と存続方法について）に入り、尾崎政明第三代理事長が「教師会が重要な問題にふれずして大事なことが解決されていない」と看破された状態がやや改善されました。

学園の改革と再出発のために、まず「学園史研究」と「自校教育」が必要であるとの佐野前学園長の指導にしたがい、学園史編纂室を設けて（2003 檜山秋彦室長）、地道な活動を続けて来ましたが、当年度に至って枠組みを『ヴォーリズの教育事業 110 年史（1905～2015）』と定め、目次作成までこぎつけました。また自校教育テキスト『近江の兄弟ヴォーリズら』の原案を作成しました。

学園の「根本的な存在意義」であるキリスト教教育については、三十年来、大門・佐野・道城学園長の「エキュメニカル（開かれた宗教）」路線で改革（再定義）が進められて来て、今日「いのち・平和・環境を大事にする」「信実なる他宗教と連携」という理念で、学内外の支持を得ています。当年度は「学校は教会ではない」という明瞭なメッセージのもとに教会の真似事ではない、学校教育にふさわしい方法を研究しています。その成果が当年度末に完成した「祈り」カードです。

第 5 次グランドデザインの最終目標「メインアリーナ建設（2016）」「サブアリーナ整備（17 以降）」を具体化しました。これをもって 2002 年以来の一連のグランドデザインを終了し、「次世代デザイン」に入ります。

以上が、2015 年度ヴォーリズ学園事業の概要であります。

財務報告（2015年度財務状況概要）

（1）資金収支計算書

「資金収支計算書」は、学校法人の当該会計年度の諸活動に対する、すべての収入・支出の内容を明らかにするものであります。

以下に、主な科目についての経年比較資料を掲示いたします。

	2011	2012	2013	2014	2015
納付金等収入	1,134,406	1,129,052	1,168,037	1,176,337	1,225,643
手数料収入	35,639	35,481	35,732	34,649	32,151
寄付金収入	25,071	17,011	16,373	25,785	50,337
補助金収入	633,996	995,410	1,024,234	1,108,168	1,159,561
事業収入	373,972	79,770	146,620	161,588	99,346
雑収入	68,109	68,792	53,611	57,420	45,241
借入金等収入	0	0	0	39,000	147,300
前年度繰越支払資金	368,444	379,972	338,649	332,938	330,137
収入の部合計	2,836,819	2,721,652	2,825,139	2,939,070	3,076,148

	2011	2012	2013	2014	2015
人件費支出	1,398,340	1,428,872	1,560,842	1,611,207	1,611,279
経費支出	510,574	527,401	580,243	616,220	614,434
借入金利息支出	20,775	20,195	18,274	15,356	14,154
借入金返済支出	375,856	135,402	104,728	94,991	87,948
施設関係支出	122,945	99,433	47,239	42,055	165,386
設備関係支出	50,788	34,192	61,647	60,038	25,366
資産運用支出	266	105,476	100,265	150,335	150,761
次年度繰越支払資金	379,972	338,649	332,938	330,137	365,073
支出の部合計	2,836,819	2,721,652	2,825,139	2,939,070	3,076,148

（2）消費収支計算書

「消費収支計算書」は、当該会計年度における消費収支の均衡状態とその内容を明らかにし、学校法人の経営状態が健全であるかどうかを示すものです。

	2011	2012	2013	2014	2015
学生生徒納付金	1,134,406	1,129,052	1,168,037	1,176,337	1,225,643
手数料	35,639	35,481	35,732	34,649	32,151
寄付金	28,445	21,692	22,517	27,729	51,388
補助金	633,996	995,410	1,024,234	1,108,168	1,159,561
事業収入	373,972	79,770	146,620	161,588	99,346
雑収入	68,109	68,792	53,841	57,420	45,537
帰属収入合計	2,276,241	2,331,877	2,453,168	2,568,560	2,615,631
基本金組入合計	△ 200,434	△ 389,203	△ 308,331	△ 319,051	271,319
収入の部合計	2,075,807	1,942,673	2,144,836	2,249,509	2,344,312

	2011	2012	2013	2014	2015
人件費	1,398,538	1,428,674	1,560,842	1,611,207	1,611,279
経費	778,432	778,658	837,977	884,359	875,905
借入金等利息	20,775	20,195	18,274	15,356	14,327
支出の部合計	2,200,129	2,227,997	2,418,205	2,512,206	2,527,191
当年度消費収入超過額					
当年度消費支出超過額	124,321	285,323	273,369	262,696	182,879
前年度繰越支出超過額	1,680,681	1,805,003	2,090,326	2,363,695	2,626,392
翌年度繰越支出超過額	1,805,003	2,090,326	2,363,695	2,626,392	2,809,271